

**大阪府立大学 看護学部**  
**現代GP採択プログラム「看護実践能力の獲得を支援するe-Learning」**  
**第2回 e学習理論研究会 開催**

今回のe学習理論研究会は、e-Learningの様々な取組に対する理解を深めるため、1日目に徳島大学現代GPシンポジウムへ参加し、2日目にe学習理論研究会を開催した。

徳島大学現代GPシンポジウム：平成18年12月9日（土） 於 ホテルクレメント徳島

e学習理論研究会：平成18年12月10日（日） 於 徳島大学工学部

**内容：**

徳島大学の現代GPシンポジウム（<http://www.e.tokushima-u.ac.jp/>）には日本全国から約120名の参加者があり、現代GP最終年度を迎える徳島大学の取組みへの関心の高さが伺えた。中でも、文部科学省高等教育局専門教育課メディア教育係主任 福島哉史氏は、挨拶の中で「採択校はモデル校として、他の大学に対してこの成果を広める責任があり、更なる情報の発信を行っていく必要がある」と述べられた。この点については、本学プロジェクトでは常日頃意識して、臨地実習施設への説明会や学会発表、他校への講演会等を実施しているが、e学習理論研究会で得られたeラーニングにおける学習理論の確立に向けた知見も加え、今後も引き続き情報発信をしていく予定である。

e学習理論研究会には12名の参加者があった。プログラムは以下の通りである。

研究報告Ⅰ ユビキタスラーニングの実践 金西計英（徳島大学工学部）

研究報告Ⅱ 香川大学のeラーニング構想 林敏浩（香川大学）

研究報告Ⅲ 京都研究プロジェクトについて 村上正行（京都外国語大学）

研究報告Ⅳ CanGoの実践 真嶋由貴恵、前川泰子（大阪府立大学）、宗陽一郎（神戸製鋼所）

徳島大学のユビキタスラーニングについては、前日のシンポジウムでは聞くことのできなかった具体的な実践（教材制作、学生の活用促進）やその際の苦労話、京都研究プロジェクトでは、バイリンガル授業による双方の言語理解の促進効果、香川大学では、eラーニングの普及に有効なシステムの検討について、CanGoでは、看護教育にeラーニングを導入することによる学習効果の検証方法について、などが話題提供された。これらから、eラーニングの問題点、効果的な実践方法、今後の方向性等を含め「eラーニングに係る学習理論とは？」について活発な議論がなされた。学習理論に基づき効果的なeラーニング実践を検討する研究会を引き続き実施していきたい。次回の研究会は、平成19年5月19日～20日、香川大学で開催する予定である。



徳島大学 金西計英先生



京都外国語大学 村上正行氏



大阪府立大学 真嶋由貴恵先生、



前川泰子先生



香川大学 林 敏弘氏